

守谷型カリキュラム・マネジメント 2019年度より導入

基本方針 教育課程の枠組みを変え教職員にやりがいをもたらし、～形を変え意識を変える～

「週3日の5時間授業」による児童生徒の学びの充実と働き方改革を推進

- 守谷市の恵まれた教育環境を生かし、夏季(8月下旬)授業や前・後期制を導入することで、**週3日を5時間授業日**とする。
- **児童生徒及び教職員の双方における日常の負担の平準化**により、児童生徒の学びの質の保障や、教職員の働き方改革による教材研究の充実・児童生徒と向き合う時間を確保す

「守谷型カリキュラム・マネジメント」の実際

1 前期・後期制の導入と夏季休業日の短縮等による授業日数の確保

前 期(4月1日～10月の第2日曜日まで) ○ 中学校の例							約100日
4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	
春休み(4/7まで)	入学式 前期始業式(給食あり)	※各校創立記念日 ↓授業実施	・前期中間テスト ・市総合体育大会	通常授業(給食あり) 7/21～8/24 夏季休業日	授業開始(給食あり)	・市新人体育大会 ・前期期末テスト	前期終業式(給食あり)
春休み	スタンダードシーズン 100分×3日 50分×1日	サマーチャレンジシーズン 2時間×4日	夏休み	オータムチャレンジシーズン 2時間×4日			

後 期(10月の第2月曜日～3月31日)							約100日
10月	11月	12月	1月	2月	3月		
後期始業式(給食あり)	※県民の日↓授業実施 合唱祭	・後期中間テスト	通常授業(給食あり) 12/25～1/7 冬季休業日	授業開始(給食あり)	・学年末テスト	卒業式・修了式	春休み(3/25～)
オータムチャレンジシーズン	オフシーズン 100分×3日	冬休み	オフシーズン	スタンダードシーズン 100分×3日 50分×1日	春休み		

2 授業日数の確保によって実現する「週3日の5時間授業」及び「部活動改革」

小学校

	月	火	水	木	金
	朝の会(モジュール実施の例もあり)				
1					
2					
3					
4					
給食・昼休み					
5					
6					
4時間 下校		1・2年		1年	
5時間 下校	1~6年		1~6年	2・3年	1~6年
6時間 下校		3~6年		4~6年	

中学校 例:スタンダードシーズン

	月	火	水	木	金
	朝の会				
1					
2					
3					
4					
給食・昼休み					
5					
6	100分		100分		100分
放課後		50分		休養日	
部活動終了後 16:50 下校					

さらに詳細を知りたい方は

- 「子育て王国もりや」実現に向けた学校教育改革プラン(守谷市教育委員会 HP)
https://www.city.moriya.ibaraki.jp/kosodate_kyouiku/kyouiku/1002690/index.html
- 学校の働き方改革に「週3日5時間授業」「形を変えれば意識は変わる」
 茨城県守谷市教育長が語る市独自の取り組み(AERA dot.掲載記事 2023年8月18日)
<https://dot.asahi.com/articles/-/198314?page=1>
- 時間外勤務が約半分に、守谷市の「週3日5時間授業×教科担任制×部活動改革」
 (東洋経済 education×ICT 掲載記事 2024年10月26日)
<https://toyokeizai.net/articles/-/835020>

「守谷型カリキュラム・マネジメント」の成果

1 全国学力・学習状況調査 質問紙調査より

Q 学校の授業時間以外に、普段(月曜日から金曜日)、1日当たりどれくらいの時間、勉強をしますか。(学習塾で勉強している時間や家庭教師の先生に教わっている時間、インターネットを活用して学ぶ時間も含む)

令和6年度 小学校6年生

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分より少ない	全くしない
守谷市	16.1	14.0	39.3	22.6	7.0	1.0
	30.1					
茨城県	9.1	13.7	35.6	28.3	10.4	2.8
	22.8					
全国	11.0	12.5	31.1	27.0	13.0	5.3
	23.5					

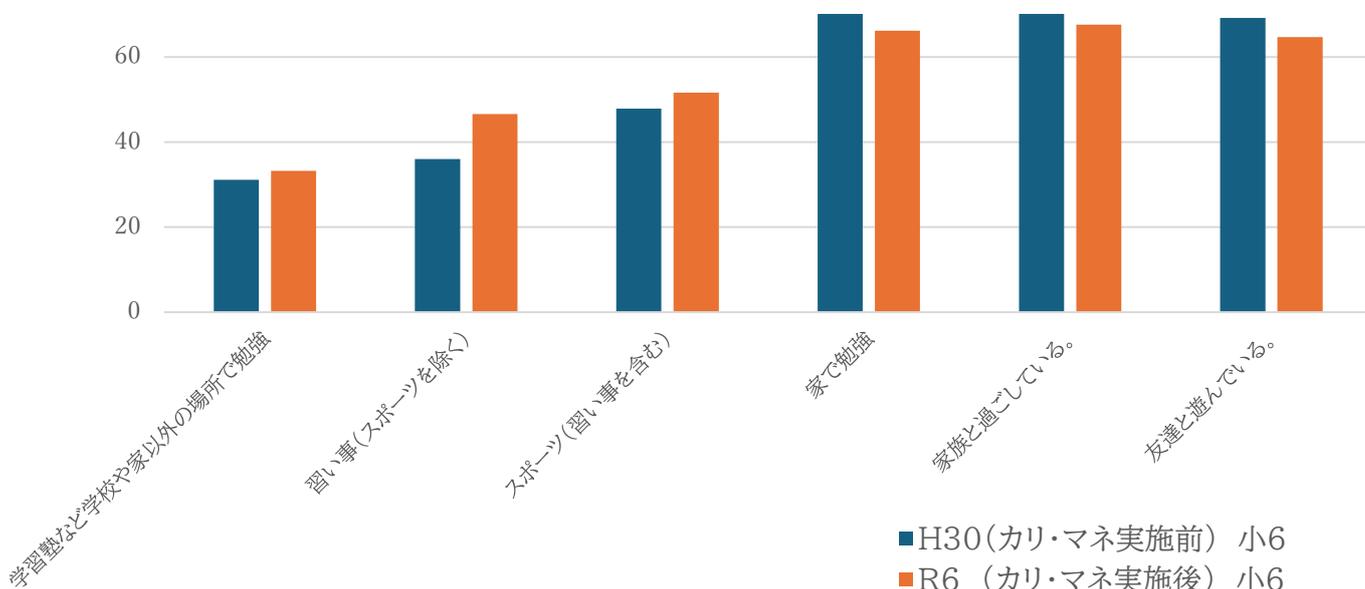
令和6年度 中学校3年生

	3時間以上	2～3時間	1～2時間	30分～1時間	30分より少ない	全くしない
守谷市	9.4	27.3	35.7	14.7	7.5	5.1
	36.7					
茨城県	7.2	22.4	37.1	20.2	8.7	4.2
	29.6					
全国	9.2	22.5	32.6	18.4	10.4	6.6
	31.7					

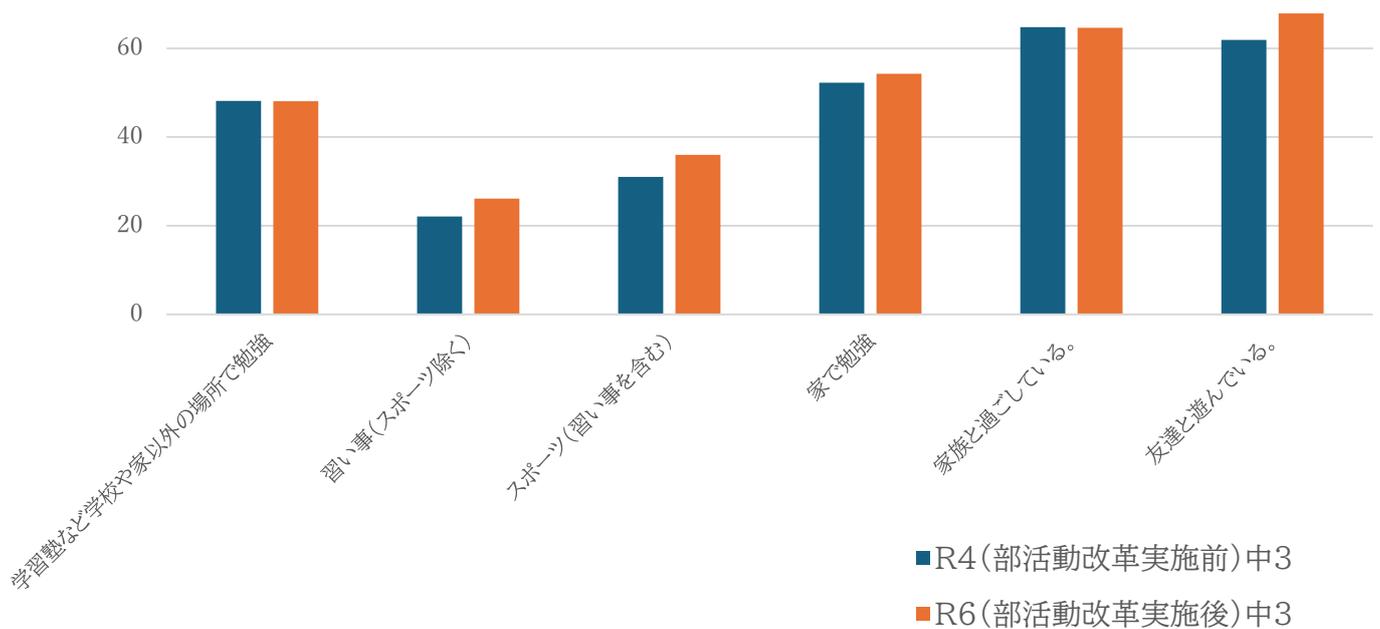
週3日の5時間授業の実施、部活動改革によって下校時刻が早まったことによって、家庭で学習する時間が、県や全国と比較して長くなっています。

Q 放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。(複数回答)

放課後や週末に何をして過ごすことが多いですか。(小学校6年生) 単位:%



放課後や週末に何をしておごすことが多いいですか。(中学校3年生) 単位:%



週3日の5時間授業の実施や部活動改革によって下校時刻を早めたり、土日のいずれかを部活動停止日としたりすることで、放課後や週末の過ごし方に余裕が生まれました。自分にとって興味のある習い事やスポーツをしておごしたり、友達とおごんだりしておごす割合が増えていることが分かります。その他、地域の活動に参加する児童生徒の割合も増えてきています。

2 先生方の声より

守谷型カリキュラム・マネジメント・部活動改革導入時に実施した教職員アンケートより

